

## スポット ニュース

### 主立坑と換気立坑の基礎工事の状況

7月中旬から開始されました主立坑と換気立坑の坑口部分の基礎工事は、これまでに地表から重機で約10mまで掘る作業が終了しました。

現在は、鉄筋と型枠を組立て、コンクリートを流し込んで坑口の基礎を造る作業を行っています。コンクリートが固まったあとは、型枠を外し、外周を埋め戻します。



主立坑の様子



換気立坑の様子

### 今月の主な作業内容

#### 【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔の掘削作業及び調査（10月19日現在）

（MIZ-1号孔：掘削長401m）

主立坑（直径約6.5m）と換気立坑（直径約4.5m）の坑口部分の基礎工事  
建設管理棟（仮称）の建設工事

構内緑化工事

研究所用地の境界地点における騒音・振動調査

浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測

#### 【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご質問または、瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課（青木<sup>かやぶき</sup>、茅吹、福島）

### 文化・歴史・自然を楽しむ in 東濃

くじりもとやしきとうきがまあと  
【久尻元屋敷陶器窯跡】（国指定史跡）

所在地：土岐市泉町久尻 1245-1

久尻元屋敷陶器窯は、織部を焼いた代表的な窯です。この窯は、慶長年間（1596～1615）に加藤景延（かとうかげのぶ）により、肥前唐津（現在の佐賀県）から導入された、美濃で最初の連房式登窯（れんぼうしきのぼりがま）といわれています。全長約24.7m、幅2.2mの大きさで14ヶ所の焼く場所があります。



連房式登窯の様子

（参照：マルチメディア平成の風土記 岐阜）

### 用語あれこれ

【オパールとは？】

10月の誕生石でもあるオパールは、地球上どこにもあるというくらい多数存在している鉱物で、構成している水を除くと成分は水晶と全く同じです。しかし、水晶と決定的に違うところは結晶していないということです。そのため、水晶にはない7色に輝く効果があります。

オパールは、珪酸<sup>けいさん</sup>の粒子が立体配列して出来た鉱物であるため非常にもろい鉱物です。

### 瑞浪国際地科学交流館の展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、先月に引き続き「ペイント工房 Wan Wan」展示会としてトールペイントの作品約50点を展示しています。是非一度、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運び下さい。

期間：平成15年11月15日（土）まで10:00～21:00

場所：瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8（入場無料）



ミニギャラリーの様子

### 来月の主な作業予定(11月)

#### 【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔の掘削作業及び調査（MIZ-1号孔）

主立坑（直径約6.5m）と換気立坑（直径約4.5m）の坑口部分の基礎工事

建設管理棟（仮称）の建設工事

構内緑化工事

浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測

狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測

#### 【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧などの長期観測